



# 第79回一中健児之塔慰霊祭

## 梅

雨明け直後の青空の下、6月23日(日)慰霊の日に第79回一中健児之塔慰霊祭が開催されました。

新型コロナウイルス類移行を受けて、昨年に引き続きの全体開催となり、首里高校からは1年生全員、2・3年生代表、部活生、職員が参加し、遺族や同窓生を含めおよそ750人が参加しました。

慰霊祭は正午の時報とともに全員で黙禱を捧げた後、吹奏楽部・合唱部による「一中健児之塔の歌」斉唱で始まり、養秀同窓会の與儀毅会長の式辞、吹奏楽部・合唱部による献奏と関係者の焼香が行われました。続いて生徒を代表して生徒会長の長田悠暉さん(東風平中)からの誓いの言葉、各クラスの生徒代表による献花となぎなた部の山城瑠夏さん(安岡中)と平良陽菜さん(安岡中)及び空手部の山川七南海さん(浦西中)による奉納演舞が行われ、最後に全員の校歌斉唱と生徒代表らによるオオゴマダラの放蝶が行われ慰霊祭は幕を閉じました。

戦後79年を経て少しずつ沖縄戦の記憶は遠のいていきますが、動員された当時の首里高生(一中生)の2人に1人、沖縄県民の4人に1人が犠牲となった戦争の恐ろしさと平和の尊さを慰霊祭を通じて受け継いでいくことの重要性を改めて感じた一日でした。

担当の先生方を始め、放送局・生徒会・部活生ら全ての首里高生・職員に感謝申し上げます。



## 台湾高雄高級中學来校



首里高校の前身にあたる県立第一中学校の先輩の宮城政三郎さんが戦時中に台湾に疎開し、敗戦後沖縄に引き揚げたことから、この度、疎開先だった台湾高雄市の高雄高級中學(旧高雄第一中学校)から「名誉卒業証書」が授与されました。

6月21日(金)に、高雄高級中學の莊福泰校長と顔銘賢學務主任が来校し、養秀同窓会館で授与式が行われました。授与式の後、一中の後身である首里高校にも訪問され、染織デザイン科見学や、茶道部からお茶が振る舞われました。

莊校長からはこの機会に両校での交流を深めたいというありがたい申し出もあつたと聞いております。台湾はIT技術や半導体を始め、成長著しい身近な地域であり、本校生徒にとっても大変貴重な機会です。沖縄と台湾、首里高と高雄高級中學との関係がより進展していくことを期待します。



## 平和集会が行われました

慰霊の日翌日の6月24日(月)に全校生徒による平和集会が行われました。



集会では、幕開けに合唱部による一中卒業生の宮城政三郎さん作詞作曲の平和の歌「ああ、いつまでも伝えてよ」の斉唱が行われ、続いて、生徒会長の長田悠暉さん(東風平中)からの誓いの言葉、演劇部による本校染織デザイン科前身の首里高等女学校らの瑞泉学徒隊をテーマにした「あの夏の織姫」の上演、そして最後はダンス部による沖縄戦を表現した「刻~12万人の命をのせて」が披露され幕を閉じました。ダンス部は県大会で最優秀賞を受賞し、8月の全国大会に派遣されます。



一中鉄血勤皇隊・通信隊の戦没者の歴史を受け継ぐ私たち首里高校は、これからも平和のバトンをつないでいきたいと思っております。合唱部・演劇部・ダンス部の皆さん並びに生徒会長の長田さん、ありがとうございました。